



環境経営レポート

2023年度版

(対象期間 : 2023年5月～2024年4月)

モリタ企画産業株式会社

発行日 : 2024年9月19日

目 次

1. 組織の概要	1
2. 認証・登録の対象組織・範囲	11
3. 環境経営方針	12
4. 環境経営目標	13
5. 環境経営目標の実績	14
6. 環境経営計画及びその取組結果とその評価、 次年度の取組内容	15
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価 の結果並びに違反、訴訟等の有無	16
8. 代表者による全体評価と見直しの結果	17
9. 活動を通して行った具体的な取組	18
10. 今後の取組内容	22
(環境活動計画及び環境経営目標)	

1. 組織の概要

1) 事業所名 モリタ企画産業株式会社
代表者氏名 代表取締役 森田 征幸

2) 所在地 本 社 〒814-0104 福岡市城南区別府2丁目12番3号
松原管理事務所 福岡市南区松原6丁目824番4・824番5
今津資材・機材管理センター 福岡市西区今津字長浜4801番4
積替保管施設・資材センター 福岡市城南区東油山字黒の原492番7

3) 環境管理責任者 代表取締役 森田 征幸
担当者(事務)氏名 森田 美詠子 ・ 天野 弘子
連絡先 TEL: 092-831-3289 FAX: 092-851-9938
E-mail: moritakikaku@arion.ocn.ne.jp

4) 事業の内容 建築工事業、とび・土工工事業、解体工事業、
産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物収集運搬業、
産業廃棄物処分業(中間処理)

5) 事業の規模

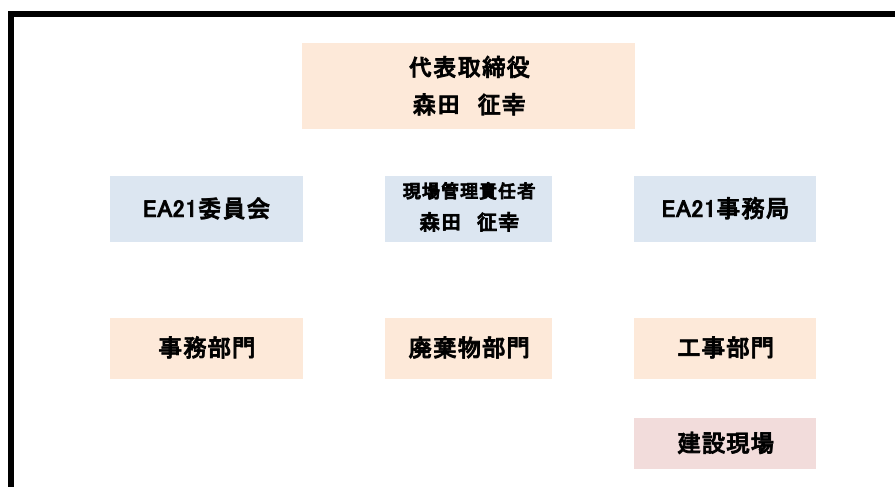
- 法人設立年月日 2007年5月1日
- 資本金 900万円
- 売上高

項 目	単位	2021年度	2022年度	2023年度
売上高	百万円	105	103	87

・ 事業年度 5月～翌年4月

	本社	松原管理 事務所	積替え 保管施設	今津資材・ 機材管理
・ 従業員数 (人)	4	8	0	0
・ 事業所の 延べ床面積 (㎡)	78.2	46.6	26.4	0

・ 組織図



6) 産業廃棄物処理業における許可の状況

【産業廃棄物収集運搬業許可】

都道府県及び政令都市	許可番号	許可の年月日	許可の有効年月日	積替保管		優良
				有	無	
福岡市	第07710141531号	2020年4月20日	2027年4月19日	●		●
(積替え保管含む) 産業廃棄物の種類 廃プラスチック類、金属くず及びガラスくず等(以上3品目については自動車等破砕物を除く。)、紙くず、木くず、繊維くず、がれき類(以上、水銀使用製品産業廃棄物を含む。) 廃プラスチック類、金属くず(以上2品目については廃バッテリーに限る。)						
福岡県	第04000141531号	2018年3月21日	2025年3月20日		●	●
(積替え保管含まない) 産業廃棄物の種類 廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず等(以上3品目については自動車等破砕物を除く。)、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、がれき類(廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ガラスくず等、がれき類については、石綿含有産業廃棄物を含む。)(汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず等については、水銀使用製品産業廃棄物を含む。)(汚泥、廃酸、廃アルカリについては、水銀含有ばいじん等を含む。)						
佐賀県	第04101141531号	2021年6月27日	2028年6月26日		●	●
(積替え保管行為含まない) 産業廃棄物の種類 汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず及びがれき類並びに廃プラスチック類、金属くず及びガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず(自動車等破砕物を除く。) 以上12種類(石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等を含む。)						

【特別管理産業廃棄物収集運搬業許可】

都道府県及び政令都市	許可番号	許可の年月日	許可の有効年月日	積替保管		優良
				有	無	
福岡市	第07760141531号	2024年3月17日	2029年3月18日	●		
(積替え保管含む) 特別管理産業廃棄物の種類 廃酸(廃バッテリーに含まれる水素イオン濃度指数2.0以下のものに限る。) 廃アルカリ(廃バッテリーに含まれる水素イオン濃度指数12.5以上のものに限る。)						
(積替え保管含まない) 特別管理産業廃棄物の種類 廃石綿等、廃酸(廃バッテリーに含まれる水素イオン濃度指数2.0以下のものに限る。) 廃アルカリ(廃バッテリーに含まれる水素イオン濃度指数12.5以上のものに限る。)						
福岡県	第04050141531号	2023年12月19日	2028年12月18日		●	
(積替え保管含まない) 特別管理産業廃棄物の種類 廃酸(廃バッテリーに含まれる水素イオン濃度指数2.0以下のものに限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く。) 廃アルカリ(廃バッテリーに含まれる水素イオン濃度指数12.5以上のものに限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く。) 廃石綿等						
佐賀県	第04151141531号	2020年1月31日	2025年1月30日		●	
(積替え保管行為含まない) 特別管理産業廃棄物の種類 廃酸(廃バッテリーに含まれる水素イオン濃度指数2.0以下のものに限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く。) 廃アルカリ(廃バッテリーに含まれる水素イオン濃度指数12.5以上のものに限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く。) 廃石綿等						

【産業廃棄物処分業許可】

都道府県及び政令都市	許可番号	許可の年月日	許可の有効年月日			優良
福岡市	第07720141531号	2018年10月15日	2025年10月14日			●
中間処理業 破砕 ガラスくず等(廃石膏ボードに限る。)、がれき類						
福岡県	第04020141531号	2018年6月25日	2025年6月24日			●
中間処理(破砕(移動式)) ガラスくず等(自動車等破砕物を除く。)、がれき類						
久留米市	第11220141531号	2018年9月26日	2025年9月25日			●
中間処理 破砕(移動式) ガラスくず等(自動車等破砕物を除く。)、がれき類						

7) 産業廃棄物処理業における施設等の状況

＜運搬車両の種類と台数＞

- ・4tユニッククレーン車(三菱)..... 1台
- ・軽トラック車(三菱・スズキ)..... 3台
- ・4t脱着式ダンプ(三菱)..... 2台
- ・2t脱着式ダンプ(三菱)..... 1台
- ・軽ワゴン車(スズキ)..... 1台
- ・専用コンテナ①9m³(3.8×1.9×1.35m)屋根付き..... 2台
- ・専用コンテナ②8m³(3.6×1.9×1.3m)..... 11台
- ・専用コンテナ③6m³(3.6×1.9×1.0m)..... 6台
- ・専用コンテナ④8m³(3.6×1.9×1.3m)屋根付き..... 6台
- ・専用コンテナ⑤4m³(2.8×1.53×1.0m)..... 2台
- ・専用シャッター付倉庫 8.9m³(1.85×1.85×2.603m)1個

(水銀使用産業廃棄物)

専用蓋付ボックス 1m³ (1.3×0.45×0.39m) 10箱)

※コンテナ③はコンテナ②の代用コンテナとして使用する。

・専用シャッター付倉庫 18.9m³(1.85×1.85×2.603m)1個

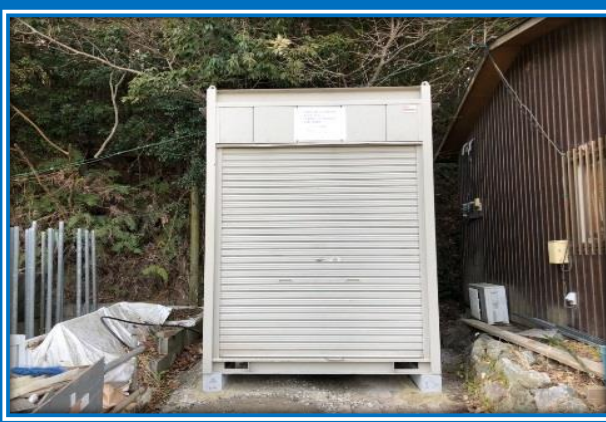
(廃酸、酸アルカリ)



専用コンテナ(屋根付き)



専用コンテナ



専用シャッター付倉庫(水銀使用製品産業廃棄物)



専用シャッター付倉庫(水銀使用製品産業廃棄物)

< 積替え保管一覧 >

・所在地 福岡市城南区東油山字黒ノ原492番7

産業廃棄物の種類	面積(㎡)	保管上限(㎡)	高さ(m)	備考
廃プラスチック類	13.68	17.784	1.3	コンテナ② 2台
紙くず	14.44	19.494	1.35	コンテナ① 2台
木くず	20.52	26.676	1.3	コンテナ② 3台
繊維くず	4.284	4.284	1.0	コンテナ⑤ 2台
金属くず	20.52	26.676	1.3	コンテナ② 3台
ガラスくず等	20.52	26.676	1.3	コンテナ② 3台
ガラスくず等(廃石膏ボードに限る。)	27.36	35.568	1.3	コンテナ④ 4台
がれき類	20.52	26.676	1.3	コンテナ② 3台
水銀使用製品産業廃棄物・蛍光管・ 電池(水銀電池・空気亜鉛電池) 各種計測機器	3.42	8.90	2.603	シャッター付倉庫 (専用蓋付ボックス 10箱)
合 計	145.264	192.734	1.0～1.74	

- ・専用コンテナ① 9㎡(3.8×1.9×1.35m)屋根付 2台 (7.22㎡・9.747㎡)
- ・専用コンテナ② 8㎡(3.6×1.9×1.3m) 11台 (6.84㎡・8.892㎡)
- ・専用コンテナ③ 6㎡(3.6×1.9×1.0m) 6台 (6.84㎡・6.84㎡)
- ・専用コンテナ④ 8㎡(3.6×1.9×1.3m)屋根付 6台 (6.84㎡・8.892㎡)
- ・専用コンテナ⑤ 4㎡(2.8×1.53×1.0m) 2台 (4.284㎡・4.284㎡)
- ・専用シャッター付倉庫 8.9㎡(1.85×1.85×2.603m) 1個
(専用蓋付ボックス 1㎡(1.3×0.45×0.39m) 10箱)
- * コンテナ③はコンテナ②の代用コンテナとして使用する。

・所在地 福岡市南区桧原六丁目824番4・824番5

特別管理産業廃棄物の種類	面積(㎡)	保管上限(㎡)	高さ(m)	備考
廃酸(廃バッテリーに含まれるpH2.0以下のもの)特定有害産業廃棄物を含まず	3.42	9.18	1.70	シャッター付倉庫 (プラスチック製容器8個)
廃アルカリ(廃バッテリーに含まれるpH12.5以上のもの)特定産業廃棄物を含まず				
合 計	3.42	9.18	1.70	

- ・専用シャッター付倉庫 8.9㎡(1.85×1.85×2.603m) 1個

【桧原管理事務所】

*施設状況



桧原管理事務所ゲート



桧原管理事務所ゲート



機材整備場



機材整備場



特別管理産業廃棄物積替え保管施設看板



専用シャッター付倉庫
(特別管理産業廃棄物)



引取り専用車両



引取り専用車両

【積替保管施設・資材センター】

※施設状況

産業廃棄物の積替え保管施設	
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類・金属くず及びガラスくず等 (以上、3品目については自動車等破砕物を除く) 紙くず・木くず・繊維くず・がれき類 (※土・砂・石等の建築資材は別途許可が必要)
許可の期限	令和2年4月20日～令和9年4月19日
許可番号	第07710141531号
面積及び保管量	141.84㎡及び183.79㎡
管理者	モリタ企画産業株式会社 森田 征幸 TEL090-3735-5158

積替保管施設看板



積替保管施設看板



搬入状況



搬入状況



積替状況



積替状況

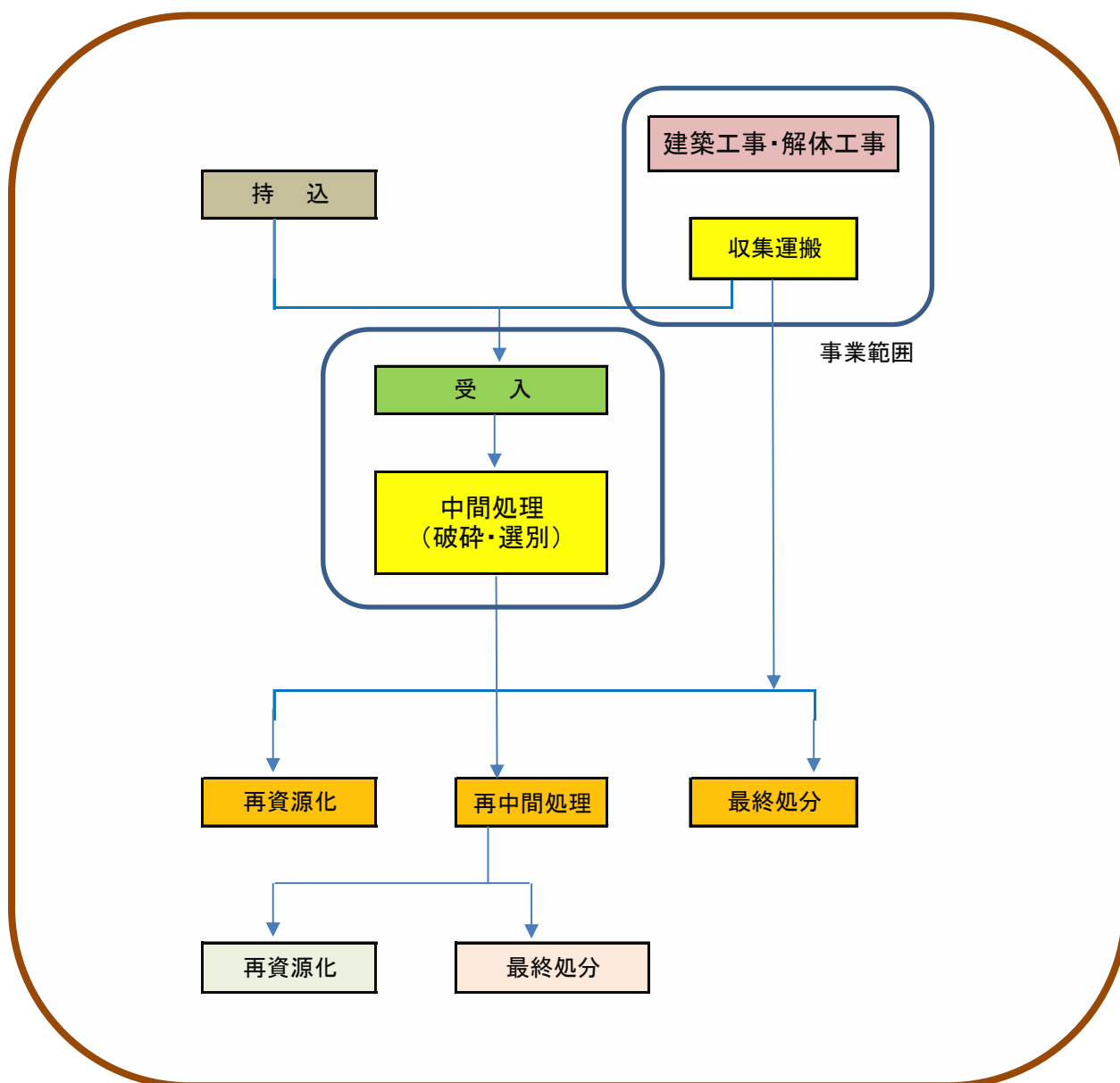


搬出状況



搬出状況

<処理工程図>



< 中間処理施設の設置状況 >

廃棄物の種類	がれき類(コンクリート・アスファルトに限る)
処理施設の種類	移動式破碎施設
設置場所	移動式の為保管場所 福岡市南区桧原6丁目824番4-5
設置年月日	設置 平成18年10月4日
処理能力	福岡市680t／日(8h) 福岡県480t／日(8h)
処理施設の処理方式及び設備の概要	破碎(ジョークラッシャーにて破碎)
環境保全設備の概要	・大気汚染(粉塵)対策として、霧状による散水を行います。排水も出ません。 ・移動式処理施設につき、低騒音・低振動の処理施設を導入。 ・現場内では防音パネル等の消音設備を必要に応じて使用する。 ・施設の運転については、環境保全に十分配慮していきます。

廃棄物の種類	ガラスくず等(廃石膏ボードに限る)
処理施設の種類	粉碎 篩い処理機
設置場所	移動式の為保管場所 福岡市南区桧原6丁目824番4-5
設置年月日	設置 平成20年10月15日
処理能力	※福岡市6.4t／日(8h) ※福岡県296t／日(8h)
処理施設の処理方式及び設備の概要	廃石膏ボードを分離する処理機です 仕様 PB-400 型 電源 200V・6.9KW 本体重量 500kg
環境保全設備の概要	・大気汚染(粉塵)対策については、外壁解体前の建物内で行う作業であり、必要に応じて集塵機を使用する事で、外部への流失はありません。。 ・移動式処理施設につき、低騒音・低振動の処理施設を導入。 ・移動式処理施設は、粉塵篩い処理機の為、水は使用しません。 ・施設の運転については、環境保全に十分配慮していきます。

【中間処理施設】

*移動式破碎施設



ガラパゴスBR210JG



ガラパゴスBR210JG

【中間処理施設の使用状況】

*現場での中間処理の様子

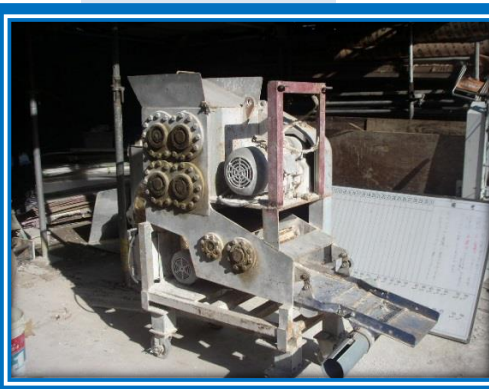


破碎処理



破碎処理

*粉碎 篩い処理



ボードクラッシャー



ボードクラッシャー



粉碎 篩い処理



粉碎 篩い処理

8)産業廃棄物の処理実績

(2023年5月～2024年4月)

処 理 方 法	廃 棄 物 等 種 類	処 理 量(t)
(i)収集運搬 (産業廃棄物)	がれき類(コンクリート・アスファルト)	10.838
	金 属 く ず	58.664
	木 く ず	15.250
	廃 プ ラ ス チ ャ ッ ク 類	33.695
	建 設 混 合 廃 棄 物	1.950
	蛍光灯類(水銀使用製品産業廃棄物)	1.08405
合 計		121.48105
(ii)収集運搬 (特別管理産業廃棄物)	廃 バ ッ テ リ ー	0.37
合 計		0.37
(iii)中間処理	がれき類(コンクリート・アスファルト)	28
合 計		28

中間処理後の再資源化の内容…自社で施工する工事での路盤材として100%再利用

※その他

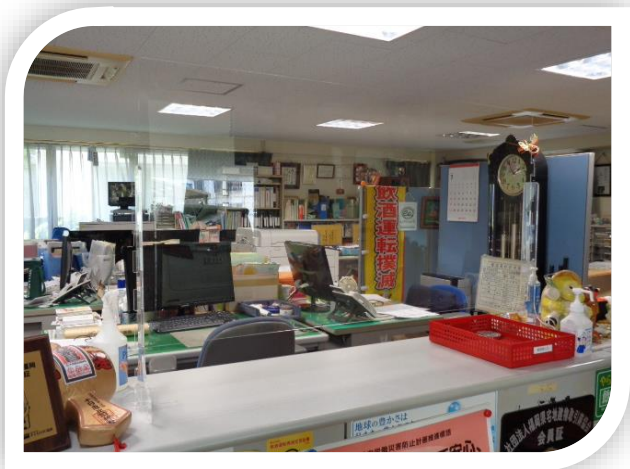
- ・ 電子マニフェスト及び電子委託契約に加入
 - ・㈱リバスタ
 - ・JWNET
- ・ がれき類、廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず等については、水銀使用製品産業廃棄物を含む。

2. 認証・登録の対象範囲

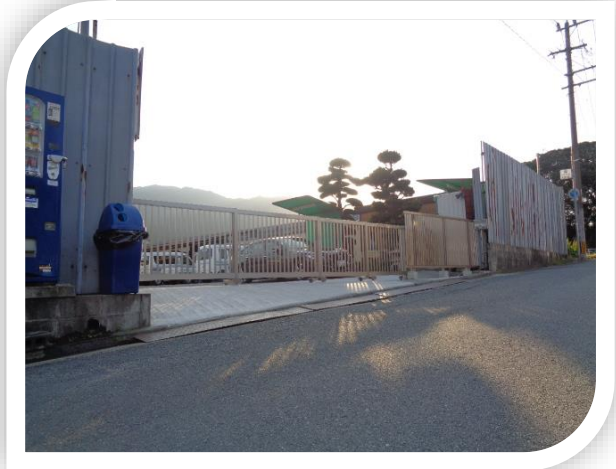
＜事業活動＞ 建築工事業、とび・土工工事業、解体工事業、
産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物処分業(中間処理)

＜対象事業所＞ 本社
 桧原管理事務所
 今津資材・機材管理センター
 積替保管施設・資材センター

本社



桧原管理事務所



今津資材・機材管理センター



積替保管施設・資材センター



3. 環 境 経 営 方 針

〈基本理念〉

モリタ企画産業株式会社は、建設工事・解体工事・産業廃棄物収集運搬業・処分業を通じて社会に貢献し、全従業員が一致協力して地球環境問題に積極的かつ継続的に取り組み、循環型社会を目指して事業を推進します。

〈行動指針〉

1. 環境負荷の低減や環境改善を図る項目を重点項目として取り組みます。

- (1) 地球温暖化防止の為、電力・燃料等のエネルギーの効率的な使用及び省エネに努め、二酸化炭素排出量を削減します。また、収集運搬車輛の燃費を向上します。
- (2) 廃棄物発生抑制、削減、リサイクルにて適正処理を促進します。受託した廃棄物についてもリサイクル率を向上します。
- (3) 環境に配慮した工法を提案し、また環境に人に優しい資材等の使用を促進します。
- (4) 節水や節電に積極的に努め、使用量を削減します。
- (5) 化学物質の管理を適正に行います。
- (6) 可能な限りグリーン購入を推進します。
- (7) 地域環境活動に積極的に参加します。

2. 当社の事業に関する環境関連法規を遵守します。

この環境方針は社内全員に周知するとともに、広く一般にも公開いたします。

制定日 2014年10月 2日

改定日 2022年 6月10日

モリタ企画産業株式会社

代表取締役 森田 征幸

4. 環 境 経 営 目 標（2023年度）

環境方針を踏まえ、当社の事業活動における具体的な環境目標は事務所と現場にサイト区分して、以下の6項目14目標として設定しました。

環 境 項 目	サ イ ト 区 分	単 位	基 準 年	単年度目標	中長期目標		
			2018年度	2023年度 (1.4%削減)	2024年度 (1.5%削減)	2025年度 (1.6%削減)	2026年度 (1.7%削減)
			2018年5月～ 2019年4月	2023年5月～ 2024年4月	2024年5月～ 2025年4月	2025年5月～ 2026年4月	2025年5月～ 2026年4月
1. 二酸化炭素排出量の削減	全体	kg-CO ₂	34,260	33,780	33,746	33,712	33,678
① 電気使用量の削減	事務所	kWh	15,096	14,885	14,870	14,854	14,839
	現場	kWh		現場の電力は使用量を把握することを目標とします (行動目標)			
② ガソリン使用量の削減	事務所 現場	ℓ	5,474	5,397	5,392	5,386	5,381
③ 軽油使用量の削減	事務所 現場	ℓ	5,919	5,836	5,830	5,824	5,818
2. 廃棄物排出量の削減							
①一般廃棄物排出量の削減	事務所	t	0.580	0.572	0.571	0.571	0.570
②建設廃棄物の リサイクル率の向上	現場	%	99.0	100	100	100	100
③受託した産業廃棄物の リサイクル率の向上	現場	%	100	100	100	100	100
④建設発生残土の リサイクル率100%の維持	現場	%	100	100	100	100	100
3. 水使用量の削減	事務所	m ³	57.0	56.2	56.1	56.1	56.0
	現場	m ³	13.7	現場の水使用量は使用量を把握することを目標とします (行動目標)			
4. 化学物質使用量の把握と 適正管理	倉庫	ℓ	20	使用量を把握することを目標とします (行動目標)			
5. グリーン購入 (資材及び事務用品)の推進	事務所 現場	品目	—	環境配慮の資材や事務用品を優先的に購入する (行動目標)			
6. 地域環境活動の推進	全社	回	9	9	9	9	9

備考) 1. 2018年度の負荷量を基準値として数値目標を策定した。

2. 二酸化炭素排出量の計算で使用した排出係数は、九州電力㈱の2019年度の二酸化炭素調整後排出係数0.371kg-CO₂/kWhを使用した。

3. 化学物質は使用していないため、目標から除外した。

5. 環 境 目 標 の 実 績

・環境目標に対する実績は次のとおりで、6項目14目標のうち6項目14目標で達成できました。

項 目		サイト区分	単位	2023年度 (2023年5月～2024年4月)		目 標 達成率	目標達成 の判定
				目標値	実績値		
1. 二酸化炭素排出量の削減		全社	kg-CO ₂	33,780	28,742.47	118%	○
① 電気使用量の削減	① 電気使用量の削減	事務所	kWh	14,885	13,064	114%	○
		現場	kWh	数値把握	561.39	—	—
	② ガソリン使用量の削減	事務所 現場	ℓ	5,397	4,591.83	118%	○
	③ 軽油使用量の削減	事務所 現場	ℓ	5,836	5,017.35	116%	○
2. 一般廃棄物排出量の削減							
①一般廃棄物排出量の削減	①一般廃棄物排出量の削減	事務所	t	0.572	0.68	84%	○
	②建設廃棄物のリサイクル率の向上	現場	%	100	94.6	94.6%	△
	③受託した産業廃棄物の リサイクル率の向上	現場	%	100	100	100%	○
	④建設発生残土のリサイクル率 100%の維持	現場	%	100	100	100%	○
3. 水使用量の削減	水使用量の削減	事務所	m ³	56.2	27	208%	◎
		現場	m ³	数値把握	46.091	—	—
4. 化学物質使用量の把握と 適正管理	化学物質使用量の把握と 適正管理	倉庫	ℓ	数値把握	20.00	—	—
5. グリーン購入 (資材及び事務用品)の推進	グリーン購入 (資材及び事務用品)の推進	事務所	品目	グリーン購入に 配慮する	—	—	—
6. 地域環境活動の推進	地域環境活動の推進	全社	参加回数	9	12	133%	◎

備考)・目標達成の判定区分 ◎:120%≦目標達成率、○:100%≦目標達成率<120%、△:80%≦目標達成率<100%、×:目標達成率<80%、
—:判定できない
・目標達成率の計算 削減目標の場合:目標÷実績×100 増加目標の場合:実績÷目標×100

6. 環境経営計画及びその取組結果とその評価

・2022年度事業活動においては、環境への取組は適切に実施できました。

環 境 経 営 動 計 画					実施 状況
1. 二酸化炭素排出量の削減					
	①電気使用量の削減	事務所	1	エアコンの設定温度を決め、実行する	○
			2	不要な照明の消灯	◎
		現 場	3	夏季における軽装、冬季における重ね着等服装の工夫	◎
			4	電力不要時には、負荷遮断、変圧器の遮断を行っている。	○
	②ガソリン使用量の削減	現 場	1	アイドリングストップの徹底	○
			2	エコライブのすすめを車内に提示	○
	③軽油使用量の削減	現 場	1	アイドリングストップの徹底	○
			2	定期点検の実施	◎
2. 廃棄物排出量の削減					
	①一般廃棄物排出量の削減	事務所	1	使い捨て製品の使用や購入を抑制している	○
			2	商品の購入時には、簡易包装の物を優先的に購入している	○
	②建設廃棄物リサイクル率の向上	現 場	1	混合廃棄物の抑制努力	○
			2	マニフェストによる適正処理	◎
	③受託した産業廃棄物のリサイクル率の向上	現 場	1	廃棄物の選別・チェック	○
			2	管理票による適正処理	◎
	④建設発生残土のリサイクル率100%の維持	現 場	1	保管管理の徹底	○
3. 水使用量の削減	事務所	1	手洗い時、洗い物については、日常的に節水を励行している	○	
		2	社用車の洗車を最小限に留め、節水を励行している	○	
	現 場	3	工事現場における水の適正使用（井戸水を使用する）	○	
4. グリーン購入の推進	事務所	1	コピー用紙等の紙について、再生紙の転換を図っている	○	
		2	事務用品カタログ等でグリーン製品を確認	◎	
5. 化学物質使用量の把握と適正管理	倉庫	1	安全データシートを掲示している	◎	
6. 地域環境活動の推進	現 場	1	不法投棄の防止キャンペーン	○	
		2	事務所・資材置場周辺の清掃	○	

備考)実施状況判定区分:◎:よく実施できた(定着)○:実施できた △:十分とは言えなかった ×:不十分であった —:活動なし

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

- ・当社の事業活動、製品及びサービスに適用される環境関連法規等は次のとおりで、2022年度事業活動に対して遵守状況を確認・評価した結果、違反はありませんでした。
- ・また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟も過去6年間ありませんでした。

適用される法規等	適用される事項（施設・物質・活動等）
廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）	産業廃棄物の収集運搬事業、中間処理事業
建設リサイクル法	再資源化の実施
オフロード法	特定特殊自動車の使用の制限
大気汚染防止法	石綿（アスベスト）を含む解体工事の届出・作業基準の遵守
騒音規制法	特定建設作業の届出・規制基準の遵守
振動規制法	特定建設作業の届出・規制基準の遵守
自動車リサイクル法	使用済自動車の引渡義務
家電リサイクル法	製品廃棄の際の適正な引渡、処理料金の支払い
フロン排出抑制法	業務用エアコン簡易点検、フロン類の引渡義務

8. 代表者による全体評価と見直しの結果

評価	・現場の量や場所等により、多少未達成の月がありましたが、事務所等では順調に取り組むことができました。 ・エコアクション21を認証登録してから、社員ひとりひとりが環境目標を持ちそれに対する活動もできた。
----	--

見直し	・特に大きな見直しはないが、全従業員へ環境経営目標及び計画について継続するよう指示しました。 ・環境配慮型工事の受注及び推進、工期期間の短縮、地域貢献活動の推進を目標に加え、また、燃料及び再資源化率、リサイクル率を高めていきたいと思いをします。 ・エコアクション21の要求事項取り組むと共に、SDGs(持続可能な開発目標)との関連付を行ない環境経営の向上に努めていきたいと思いをします。
-----	---

9.活動を通して行った具体的な取組

1.【節水】【アイドリングストップ】【節電】【防音】などの省エネに事務所・作業場ともにより一層取組み、また、作業場の増減により変動することもあるので、今後の目標値の変更も検討したいと思います。



散水時節水の徹底



アイドリングストップ



防音性を重視したシートを使用。

シートの材質や張り方にも気をつけ最善の騒音対策をしている。

また、重機の操作も丁寧に作業するよう心がけている。

2. 【エコアクション21】継続において、ボランティア活動や地域貢献活動についても、今後積極的に参加出来る様に、従業員意識を向上させより一層【省エネ】に取り組み『循環型社会の構築』に役立つ様に努めて参ります。

★ **地域貢献活動** の一環としての清掃活動

積替え保管施設・資材センター



桧原管理事務所



★ **不法投棄防止** キャンペーン参加



★エコ事業所表彰(自動車燃料使用量の削減に向けた取り組み部門)



★福岡市Well-being & SDGs 登録



★福岡県SDGs 登録



10. 今後の取組内容

環 境 活 動 計 画				
1. 二酸化炭素排出量の削減				
①電気使用量の削減	事務所	1	エアコンの設定温度を決め、実行する	
		2	不要な照明の消灯	
	現 場	3	夏季における軽装、冬季における重ね着等服装の工夫	
		4	電力不要時には、負荷遮断、変圧器の遮断を行っている。	
②ガソリン使用量の削減	現 場	1	アイドリングストップの徹底	
		2	エコライブのすすめを車内に提示	
③軽油使用量の削減	現 場	1	アイドリングストップの徹底	
		2	定期点検の実施	
2. 廃棄物排出量の削減				
①一般廃棄物排出量の削減	事務所	1	使い捨て製品の使用や購入を抑制している	
		2	商品の購入時には、簡易包装の物を優先的に購入している	
②建設廃棄物リサイクル率の向上	現 場	1	混合廃棄物の抑制努力	
		2	マニフェストによる適正処理	
③受託した産業廃棄物のリサイクル率の向上	現 場	1	廃棄物の選別・チェック	
		2	管理票による適正処理	
④建設発生残土のリサイクル率100%の維持	現 場	1	保管管理の徹底	
3. 水使用量の削減	事務所	1	手洗い時、洗い物については、日常的に節水を励行している	
		2	社用車の洗車を最小限に留め、節水を励行している	
	現 場	3	工事現場における水の適正使用（井戸水を使用する）	
4. グリーン購入の推進	事務所	1	コピー用紙等の紙について、再生紙の転換を図っている	
		2	事務用品カタログ等でグリーン製品を確認	
5. 化学物質使用量の把握と適正管理	倉庫	1	安全データシートを掲示している	
6. 地域環境活動の推進	現 場	1	不法投棄の防止キャンペーン	
		2	事務所・資材置場周辺の清掃	

環境経営目標（2024年度～2027年度）

【事務所及び現場】

環境項目	サイト区分	単位	基準年	単年度目標	中長期目標		
			2023年度	2024年度 (0.1%削減)	2025年度 (0.2%削減)	2026年度 (0.3%削減)	2027年度 (0.4%削減)
			2023年5月～ 2024年4月	2024年5月～ 2025年4月	2025年5月～ 2026年4月	2026年5月～ 2027年4月	2027年5月～ 2028年4月
1. 二酸化炭素排出量の削減	全体	kg-CO ₂	30,739	30,708	30,678	30,647	30,616
① 電気使用量の削減	事務所	kWh	12,921	12,908	12,895	12,882	12,869
	現場	kWh		現場の電力は使用量を把握することを目標とします (行動目標)			
② ガソリン使用量の削減	事務所 現場	ℓ	4,472	4,468	4,463	4,459	4,454
③ 軽油使用量の削減	事務所 現場	ℓ	5,480	5,475	5,469	5,464	5,458
2. 廃棄物排出量の削減							
① 一般廃棄物排出量の削減	事務所	t	0.560	0.559	0.559	0.558	0.558
② 建設廃棄物の リサイクル率の向上	現場	%	95.3	100	100	100	100
③ 受託した産業廃棄物の リサイクル率の向上	現場	%	100	100	100	100	100
④ 建設発生残土の リサイクル率100%の維持	現場	%	100	100	100	100	100
3. 水使用量の削減	事務所	m ³	24.0	24.0	24.0	23.9	23.9
	現場	m ³	7.0	現場の水使用量は使用量を把握することを目標とします (行動目標)			
4. 化学物質使用量の把握と 適正管理	倉庫	ℓ	20	アドブルーの使用量を把握することを目標とします (行動目標)			
5. グリーン購入 (資材及び事務用品)の推進	事務所 現場	品目	—	環境配慮の資材や事務用品を優先的に購入する (行動目標)			
6. 地域環境活動の推進	全社	回	9	9	9	9	9

備考) 1. 2023年度の負荷量を基準値として数値目標を策定した。

2. 二酸化炭素排出量の計算で使用した排出係数は、九州電力(株)の2022年度の二酸化炭素係数 0.475kg-CO₂/kW hを使用した。

3. 化学物質は使用していないため、目標から除外した。